

「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」を目指して

～第6次市総合計画の
基本構想を
まとめました～

総合計画、基本構想とは？

総合計画は、市のまちづくりの基本となる最上位の計画で、基本構想にはまちづくりの方針を定めます。

第6次南陽市総合計画は、令和3年度から令和12年度までの10年間の計画です。

たくさんの方の意見をもとにしました

昨年から、市民意向調査、中学生・高校生意識調査、サマーアイデアキャンプ、市民とみらいワークショップ、パブリックコメント等で幅広い世代の方からご意見をいただきました。また、振興審議会や庁内会議等で議論を重ね、第6次市総合計画の基本構想を策定しました。

まちづくりを進める上で最も大切にしたい考え方「基本理念」

「基本理念」は、次のとおりです。
「あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができる社会を実現するため、ひと、もの、活動等のあらゆる地域資源をつないで、新たな価値を創造します。」

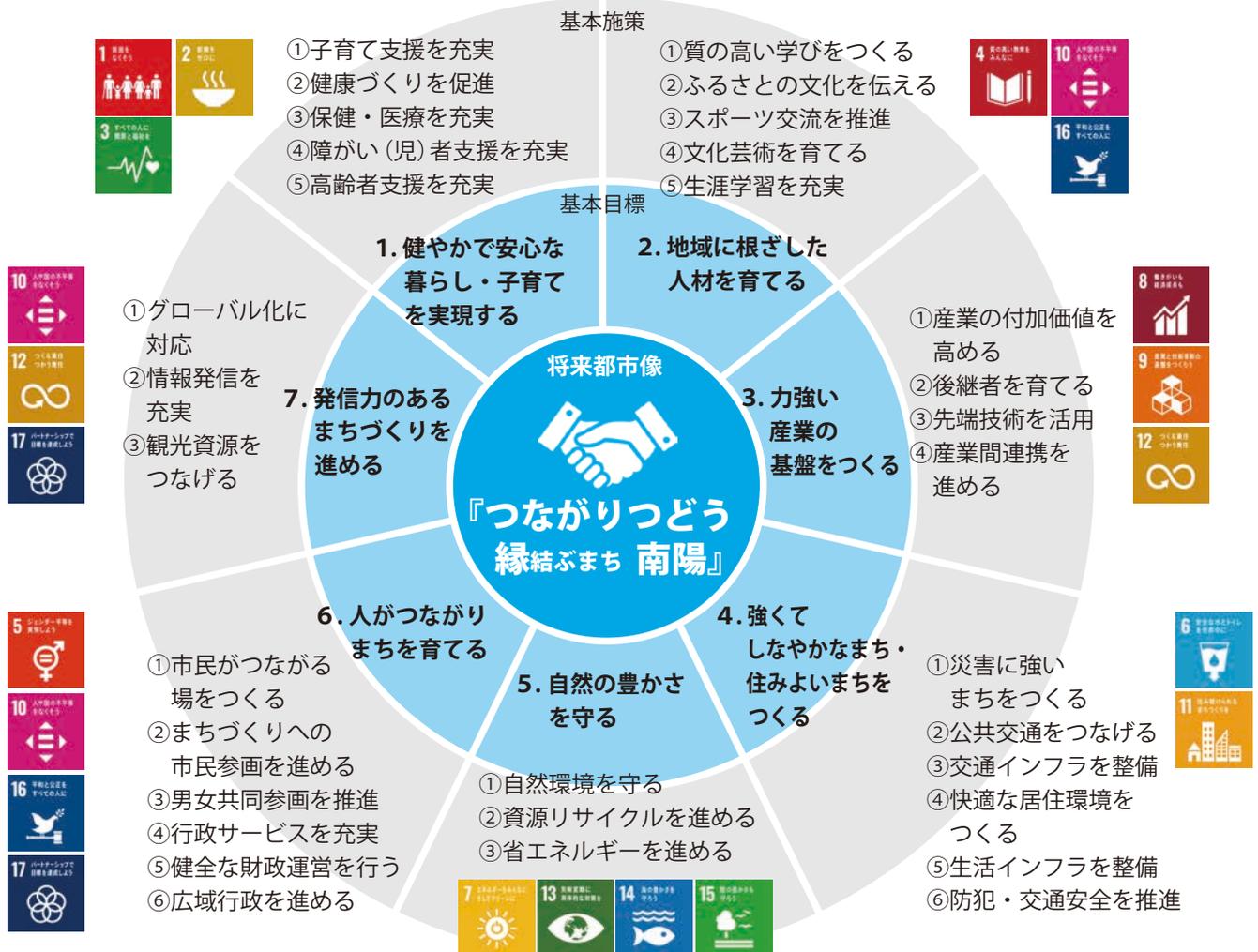
将来都市像

「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」

将来都市像は、住民・地域・企業・行政と一緒にまちづくりを進めていく上で共有できる未来のまちの姿です。これからの南陽市は、ここに住む人、出会う人が生き方、暮らし方を楽しみ、多様な「縁」により新たな付加価値が生み出されていくまちを目指します。

計画の大綱

各基本目標には、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標を対応させています。



これからの取り組みは？

将来都市像を市民の皆さんとともに実現するために、具体的に必要となる取り組みを「基本計画」としてまとめ、今年度中に公表する予定です。